



Make Dreams Real 夢をかたちに

地区テーマ 楽しいロータリーで、仲間を増やそう

本クラブテーマ 実践と充実感

国際ロータリー2800地区

鶴岡ロータリークラブ

第2421回(本年度第8回)例会 2008.9.2

●例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場/東京第一ホテル鶴岡

鶴岡市錦町2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

樋渡 美智子

2800地区武田ガバナーの訪問、ありがとうございます。

- ・8月19日 ガバナー補佐出席のクラブ協議会
- ・8月22日 青少年交換留学生担当者会議
- ・8月23日 職業奉仕、米山奨学セミナー
- ・8月26日 だだちゃ豆家族例会
- ・8月27日 第2ブロックGSE受入れについて
- ・8月28日 ローターアクト例会、10名の会員とローターアクト6名、藤川さんよりローターアクト、ロータリーとは?のお話をきく。

楽しいRCで仲間を増やそう

国際ロータリー 2800地区ガバナー 武田 和夫



七月からガバナーをさせて頂いております、山形南ロータリークラブの武田でございます。

鶴岡には石黒慶之助先生の時代から縁があり、青少年交換委員長は新穂

さんでした。大変なグルメで、食材の買出しなど付き合わされた思い出があります。

鶴岡クラブは来年周年行事を迎えて、形が出来あがっており安心してみておられます。RIから、会員を増やせ、増やせときております。何でもかんでも会員を増やすことがいい事ではないと思います。日本もアメリカもどんどん右肩下がりに減っております。7月7日にRI会長主催の会員増強会議が東京でありました。『友』の9月号をみますと9万5千

を割っております。クラブも4つ消えてなくなりました。ロータリーのメンバーが減るのは、景気だけではなさそうだという事があります。先進国はみんな減ってますけど、ドイツだけが増えています。それは、むやみにクラブを増やさない。一業種一人を守り、マイスターの資格を持っていないと、ロータリーのメンバーに入れない。ですから非常にステイタスというものがある。みんなが憧れる、だから会員が増えているのではないかと考えます。

地区会員が減って一人当たりの負担が大きくなり、やりたいことも出来ないというのは事実であります。10人レベルのクラブもいくつかございます。小さくなったクラブが色んなことで活動するのは非常に困難だろうと思います。

今ロータリーというものが町の人たちにどれだけ理解を得ているかというと、せいぜい金持ちの昼飯会という感覚で捉えられていると思います。ポールハリスが4人で始めた時には、結婚もしていない独身の弁護士、石炭を扱う石炭商、仕立て屋さん、鉦山技師と、どのメンバーをみても金持ちではないです。そしてその人たちが一人一業種と違っていたということでザックバランに話が出来た。その中では非常に安心して仕事が頼めた。仲間内ですから、ならばぼったくりみたいなことも出来ないし、確実な仕事はロータリアン仲間ですればいいんだということで、会員が増えていったというのが本当のロータリーのかたちだと思います。ですからロータリーの原点はクラブ内の親睦と友情とそして確実な仕事をするという職業奉仕にあると思います。

ロータリーの綱領に出てくるクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の4大奉仕が、

9月は... 新世代の為の月間

出席報告	会員数	46名
	出席	33名
	出席率	76.74%
	前回確定出席率	69.77%

RI会長 李 東 建 ■地区ガバナー 武田和夫
 ■会長/樋渡美智子 ■副会長/佐藤孝子 ■幹事/越智茂昭
 ■会報委員会/松井 亨・北川米三

事務局: 鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376 E-mail: tsuruoka08@rid2800.jp



創立50周年式典
2009年4月18日



この前の手続要覧ではみんな消えてなくなりました。今回の新しい手続要覧でまた復活しております。決議 23-34 というものがあります。社会奉仕の項目に入っておりますが、自分の商売では儲けたいし、奉仕はしたいという矛盾の葛藤をどうやってとるかということが書いてあります。その決議 23-34 条は日本ではロータリーの基礎であり哲学であると言われ、非常に大切にされていたのですが消えてなくなりそうになって、日本の理事が相当に頑強に反対してようやく残ったというような経過があります。なぜ消えようとしたか、23-34 というのはピューリタン精神にのっとって、ロータリーが世界中に拡大していくと色んな宗教や思想が入ってくる。従って金集めに邪魔になる決議 23-34 を削除しようという動きがありました。それはとんでもないと日本の理事は頑張った。そうすると RI 理事も日本は二人出していたのが一人にされました。これ以上会員が減ると、毎年一人理事を出すことが困難になるから一生懸命 10 万人レベルを保たなければならないというので日本のロータリーも一生懸命会員増強ということを言っている。会員増強というならば、ロータリーというものが社会に認知されなければならない訳です。認知されるためには、ロータリーが何をやって世の中にどんなふうに関わっているか理解していただかないといけないと思います。

皆さん方に中学生、高校生のお子さんがいると、その学校やクラブ活動を通じて関係する方達と仲良くなる。それで青少年交換学生が来た時にその子ども達をクッションにして色々学校と接触できます。ですから何とか若い人、まだ子どもを学校に入れている人達をロータリーに入れなければならない。昔はロータリーというものが、情報源としては大切だったのだと思います。ここにすれば新聞に出る前にあそこの会社が今度増資しそうだとか、潰れそうだとか色んな情報が入って、商売に役立てることが出来た。今はインターネットの情報の方がはよくなって、ロータリーに来てわざわざ飯を食べて雑談をしているよりも他のところで情報が取れるという時代になって、ロータリーに入る意味が減ってきたという訳です。それを引き止めるためにはどうしたらいいかというロータリでもそれを引き留められるだけの色んなことをやらなければいけない。ただ夜の例会だけではだめで家族みんなと奥様方を一緒に引き込むようなことをやらなくてはならないということです。そして一つのクラブだけでやるので

はなく他のクラブと一緒にやる。東京マラソンは 3 万人が走るわけです。そのサポーターもたくさんいる。沿道に机を出しまして、東京 2580 地区の入ったノボリ旗を何本もたて、ロータリアンは法被を着て、飲み物のサービス、バナナのサービスをやっています。テレビにも出ます。お金を出すのは簡単ですがお金を出す以外に自分達が直接行ってみんなでそういったことをやればロータリーというものの存在感が出てくるわけです。そういったロータリーの存在感というものを世の中に知らしめないと、ロータリーは存続しないだろうと思います。

そしてロータリーというものが身の回りの人たちに知られてくれば、ロータリーっていいことやってるんだなと入ってくれる人が出てくる。入れるムードを作って、そして会員になったら育てなければなりません。まず真っ先にクラブの皆さんにご紹介をして顔を覚えてもらって、次にはあまり時間が経たないうちに外のクラブに行き紹介してあげて顔見知りの輪を広げていってあげる。ブロックの中で、新しい人を集めて、ファイヤーサイドミーティングのような雑談会をやって親睦の輪を広げていってほしいと思います。それがロータリーの基礎をしっかりとする一つの基だと思っています。そういうことで会員が一人でも増えるという状態になるべく持っていきたいということで皆さんよろしくをお願いします。

委員会報告

SAA・出席委員会

●ゲスト

武田和夫国際ロータリー 2800 地区ガバナー

●ビジター

大久保章宏国際ロータリー 2800 地区地区幹事
後藤正国際ロータリー 2800 地区ガバナー補佐

●メイクアップされた方

藤川 享胤 青柳 孝治 佐藤 孝子 越智 茂昭
嶺岸 禮三

親睦委員会

●9月会員誕生

榎本 政規君 加藤 賢君 渡辺 英一君

●9月配偶者誕生

真島 靖子様 檜野 留美様 上野 明子様
北川美智子様 樋渡 格様

●スマイル

武田 和夫君 後藤 正君 樋渡美智子君
塚原 初男君 富樫 松夫君 佐藤 孝子君
富田喜美子君 吉野 隆一君 嶺岸 禮三君